

JET からの手紙

私の思い出が詰まった長屋小学校

鹿児島県南さつま市教育委員会 外国語指導助手
Rebecca Clippard (レベッカ・クリップード)

閉校記念運動会

2023年5月21日、アジサイが咲き始める季節に、南さつま市立長屋小学校の運動会が行われました。全校児童5人とともに地域の方々も運動会に参加され、2人の6年生がチームリーダーとなり、家族や地域の方々、他の3人（4年生2人、3年生1人）が2つのチームに分かれて競い合いました。通常のリレーや応援合戦、玉入れのようなプログラムだけでなく、輪投げやグラウンドゴルフのようなめずらしいプログラムもありました。

そして、最後には「ありがとう145年長屋小」の人文字をみんなで楽しみながら作って、写真に収めました。2023年度は長屋小学校にとって大事な年でした。なぜなら2024年3月29日に閉校することが決まっていたからです。参加者たちは皆、この閉校記念運動会を忘れたくないと思いました。



運動会のときにドローンで撮影した人文字の写真

いつか閉校するのではないかと考えていた中、児童が7人から5人に減ったときに閉校のお知らせを聞いて、みんながっかりしましたが、最高の年にしようと思いました。私は、2019年から長屋小学校で働いていましたが、JETプログラムでは5年までしか働くことができない

いため、この年が私にとっても最後の年となりました。

最後のブルーベリー狩りやそば打ち、さつまいもの植え付けなどで過ごした時間は、楽しくもあり寂しくもありました。閉校すると聞く前は、私がこの学校を去らなければならないと思っていました。しかし違いました。私が去るより先に閉校となってしまったのです。

私はこの素晴らしい学校で外国語指導助手（ALT）として5年間働けたことにとても感謝しています。



6月に行った長屋の田植え

英語の授業

英語の授業のやり方は、この数年間で変化していき、2023年、私は、校長先生と一緒に3・4年生、担任の先生と一緒に6年生に英語を教えました。少ない人数であるため、児童がやってみたいことなども取り入れながら、授業の内容を考えることができました。また、児童が理解するのが難しい場合は、児童の理解度やペースに合わせて授業内容を変更しました。3年生のクラスは児童が1人だったので、授業中に児童が孤独を感じてしまわないかということが少し心配でした。そのため、授業では、先生と児童と一緒にできるグループ活動に力を入

れました。例えば、アルファベットの学習では、1人ひとりが1枚ずつ大文字のカードを引き、自分が持っている2枚のビンゴシート上にある小文字を探す活動をしました。

6年生との英語の授業もとても楽しかったです。6年生の中に難聴の児童が1人おり、その児童を支援する先生がいつもいてくれたので、6年生の英語の授業は、先生3人と児童2人での授業でした。復習のために、私はよくジェパディゲーム（クイズゲームの一種）をパワーポイントで作成していました。児童は高いポイントを獲得しようと先生と競争します。先生に勝利したときの児童は、チャンピオンになったかのようにいつも喜んでいました。

花と緑 ふるさに学ぶ学校

児童が5人しかいない場合の文化祭や運動会はどのように行うのか。実は、保護者や祖父母、兄弟、先生たち、卒業生、地域の方々の支援によって行います。長屋小学校のモットーは「花と緑 ふるさに学ぶ学校」です。小規模な学校では、確かに実現することが不可能なこともあります。素晴らしいことを実現することもできるのです。例えば、学習発表会では、5人で「おおきなかぶ」を英語バージョンで発表しました。また、鹿児島弁でも発表を行い、観客を大いに喜ばせました。

総合的な学習の時間では、児童が米を育てる体験をしました。児童は田植えや草抜き、そして収穫を行ったあと、米を洗いました。そして12月上旬には、餅つき大会が地域で行われました。

最初の餅が出来上がった。でも、彼らは食べません。代わりに、収穫できたこ



餅つき大会

とを神様に感謝するために田んぼに返します。長屋小学校では、学校での学習だけではなく、自然の不思議を子どもたちに体験させることで、日本や長屋地域の伝統や歴史を保存するための教育を行うことを目標としています。この長屋のモットーが、私は達成できていると思います。



長屋小学校の正面

ありがとうとさようなら

3月上旬、長屋小学校の長い歴史を記念し、閉校式が行われ、たくさんの素晴らしい式辞が述べられました。

どの式辞も「ありがとうとさようなら」というメッセージが込められており、とても感動しました。私も、長屋小学校で「ありがとう」と言いたい経験をたくさんしました。

新しく ALT として赴任したばかりのころ、恥ずかしがり屋の私に親切にしてくれてありがとう。たくさんの思い出をつくってくれた児童たち、そして先生たち、ありがとう。餅つきやそば打ち体験などの伝統的な日本食作り体験に招待してくれてありがとう。伝統的な日本の米作りを見せてくれてありがとう。ありがとうと言ってから、静かに「さようなら」と言おう。子どもたちの笑い声をもう二度と聞くことのできない、空っぽの教室に。

プロフィール



Rebecca Clippard

(レベッカ・クリップード)

出身はアメリカのテネシー州で、大学ではスペイン語と日本語を専攻していました。5年間 JET プログラムに参加しました。今後は文部科学省の奨学金を受け、創価大学の国際言語教育プログラムでもう一度学ぶ予定です。一生懸命頑張ります。私は ALT という仕事が大好きです。将来の夢はアシスタントではなく、自身が英語を教える先生になりたいです。